



## 2022年度 新たなチームと新たな組織で!

一般社団法人 大阪府作業療法士会  
会長 関本 充史 (株式会社かなえるリンク)



去る、6月4日(土)に当会の2022年度定期総会が開催されました。今年度は、役員選出も実施され、新たなチームとなりました。今回、理事に就任された方々、新たな組織図は、別ページにてご紹介いたします。私は、今期も会長として就任させて頂きましたので、これからも大阪府民へ作業療法が届けられるよう精進して参りたいと思います。会員の皆様のご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。

今回の総会では、役員選出以外には、2021年度事業報告、決算報告及び監査報告、2022年度事業計画及び予算案、定款変更、第37回大阪府作業療法学会会長選任を行いました。

2021年度は、感染対策しながらの活動であり、研修会無料も実施しておりましたが、総合事業等自治体からの事業委託等も増えたこともあり黒字にて終えることができました。2022年度・2023年度は「全ての世代に作業療法を!」をテーマとしております。2022年度は、①感染対策しながらの事業推進、②組織編成と強化、③関連団体との連携推進に取り組んでいきます。①では、対面での開催をどのように実施していくかを検討していきます。会議等、可能な範囲から対面開催を実施し、対面での研修会を模索していきたいと思っております。②では、日本作業療法士協会で進められている「協会員=

士会員」の検討を進めていきます。何よりコロナ禍により会員数は約2500名でとどまっています。入会者数は例年通りではありますが、入会後に会員である意味を見いだせずに退会する人が多い状況です。学生の時から職能団体の意義を伝えるためにも養成校とも連携し、会員への当士会活動周知方法も再検討していきます。③では、介護予防・日常生活支援総合事業支援はじめ、特設委員会の就労支援委員会で『大阪のはたらく千物語(通称はたせん)』が立ち上がり、会員とのネットワーク構築、教育体制の検討、他関連団体とのつながり構築を開始して下さっています。また、対外的なつながりを強化するために、副会長を3名にするよう定款変更を承認頂きました。Withコロナの時代に向けて、より一層渉外活動を強化していきたいと思いい、この体制を取らせて頂きました。第37回大阪府作業療法学会会長としては、藤原太郎さんが選任されました。

今年度も対面で実施できる事業を模索しながら、当士会活動を推進していきますので、当会の事業にもご理解・ご協力頂きますようお願いいたします。子供から高齢者まで、作業療法を府民に役立てるものへと深化させていくために、理事はじめ当士会会員一丸となって推進していきたいと思いいます。どうぞよろしく願いいたします。